

# 2018年西日本合唱講習会in広島のご案内 第1報=予告編

## 核兵器禁止条約発効をめざす年、ヒロシマをうたう2日間

◆日時◆ **5月4日(祝・金)～5日(祝・土)**  
4日 13時～21時 / 5日 9時30分～16時 (いずれも予定)

◆会場◆ **広島市西区民文化センター**  
〒733-0013 広島市西区横川新町6番1号 TEL. 082-234-1960  
JR横川駅南口から約200m (広島駅→横川駅は2駅5分)  
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/nishi-cs/index.htm>

◆講習内容◆ (案=1/30現在)  
…講習スケジュール、詳細は決定次第お知らせします  
・事前譜読み練習 (5/4午前)  
♪声楽講座/発声と歌唱 (5/4午後、5/5午前)  
♪合唱講座 (5/4午後・夜、5/5午前・午後)  
♪被爆体験を聞く(5/4午後)  
・オプション企画…被爆遺跡・被爆地見学(5/4昼、5/5終了後)



◆講師◆  
青山邦恵さん (声楽家)  
松本秀子さん (被爆者・呉うたごえたんぼぼ団員→裏面参照)  
山本恵造さん (関西合唱団指揮者/レガータ指揮者)  
高田龍治さん (広島合唱団指揮者)  
ほか、講師折衝中

◆教材曲◆ (1/30現在の候補曲…今後変更の可能性あり)  
①「こわしてはいけない」より「抱きしめよう」(窪島誠一郎 詩/池辺晋一郎 曲)  
②「原爆を許すまじ」(浅田石二 詞/木下航二 曲/源田俊一郎 編曲)  
③「風花～冬・ヒロシマによせて～」(門倉さとし 詩/たかだりゅうじ 曲)  
ほか、女性合唱曲・男声合唱曲も検討中

◆受講料◆  
協議会会員 = ¥11,000 (1日のみ¥7,000) ※会員外 = ¥13,000 (1日¥9,000)  
中四国の会員 = ¥8,000 (1日のみ¥5,000) ※会員外 = ¥11,000 (1日¥6,000)

◆参加申し込み方法◆  
①申込用紙に必要事項を記入して、下記、講習会事務局までお申し込み下さい。  
②受講料と宿泊・弁当希望の場合は宿泊・弁当代を、別途、ご送金下さい。  
③申し込み〆切り=第一次3/17、第二次4/2、最終4/28(土)事務局到着分まで  
(宿泊を伴う場合は4/2(月)事務局着分まで厳守!以後は、問い合わせ)  
※必要事項がわかれば、所定の申込用紙以外、メールなどでもOK。  
※必ず、お手元に控えを残してください  
※宿泊の申し込みは先着順。満室になり次第締め切ります。

**<宿泊・弁当のご案内>**

◆宿泊◆ (部屋数限定有! 先着順)  
5月3日・4日の宿泊についてお部屋を確保しています。先着順で受け付けます。宿泊代金を添えて、講習会申し込みとご一緒にどうぞ。  
宿泊申込は4/2まで。以降は要相談。  
【ご利用ホテル】(シングルのみ)  
①ホテルエスプル広島平和公園 9,000円  
→5/3(木)泊、5/4(金)泊  
②ホテル法華クラブ広島 11,000円  
→5/4(金)泊  
※室数に限りがあり、ホテルの選択希望には沿えない可能性があります  
※どちらのホテルも会場まで市内電車で約20分

◆弁当◆  
5/4の昼・夕、5/5の昼の弁当を用意します。  
お茶付850円の予定(変更の可能性あり)。ご希望の方は、代金を添えて、講習会申し込みとご一緒にどうぞ。  
※食事休憩の時間も短いので、弁当をお勧めします。

不明な点は講習会事務局↓までお気軽にお問い合わせください。

\*\*\*\*\*

【主催】日本のうたごえ全国協議会  
【講習会事務局】 全国事務局 〒631-0041 奈良市学園大和町3-218掛川方 奈良のうたごえ協議会事務局  
Tel. 090-6963-5804 (掛川) / Fax. 0742-47-6113 / e-mail utagaki@sings.jp  
現地事務局 広島市のうたごえ協議会  
Tel & FAX. 082-295-5065 / FAX. 082-295-5065 / e-mail hiroutakyo@yahoo.co.jp

広島以外の方の申込は、全て全国事務局で取り扱います

◆受講料・宿泊代等振込先◆  
【郵便振替口座】 ゆうちょ銀行から →→→ 01010-0-43593 京都うたごえ協議会  
ゆうちょ銀行以外から → ゆうちょ銀行 一〇九(イチゼロキユウ)店 当座預金0043593 京都うたごえ協議会

\*\*\*\*\*

### 2018年西日本合唱講習会参加申込書

受講料 \_\_\_\_\_ 円、宿泊代 \_\_\_\_\_ 円、弁当代 \_\_\_\_\_ 円、合計 \_\_\_\_\_ 円を添えて申し込みます。 2018年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

※参加日、宿泊、弁当など、選択肢のあるものは、該当するものに○をつけてください。

府県	サークル・合唱団		うたごえ協議会 会員・会員外	
氏名	男	住所 〒		
パート:	女	ソプラノ・アルト・テナー・バス		
自宅電話	FAX	携帯電話		
E-mail	宿泊希望	5/3・5/4・不要	宿泊代計	円
参加日	両日・4日のみ・5日のみ	受講料	円	① ホテルエスプル ② ホテル法華クラブ
弁当申込	5/4昼・5/4夕・5/5昼	弁当代	円	入金日 月 日
		受講料・宿泊代 入金方法	振込・現金書留・持参・その他	

(中国新聞記事より 高田龍治さん寄稿2015年)

「歌音楽」で岩(状況)を動かすことは出来ないが、動かそうとする(変えようとする)人達の力になれる」作曲家の池辺晋一郎さんが講演やレッスンの中でよく口にされる言葉だ。

—中略—

私が指揮で通う合唱団で、呉市に「合唱団たんぽぽ」という10人足らずの小さな合唱団がある。なかに音戸町から通われている松本秀子さんというとてもお茶目で、笑顔の可愛い女性団員がいる。年齢は85歳。4年前のある日、彼女が被爆者だと聞き、ちょうど「折り鶴」という平和の歌をレッスン曲に取り上げた矢先だったので「ぜひその時の話をしていたくない?」と尋ねた。返ってきた言葉は強い口調で「話しません」だった。

♪生きていてよかった それを感じたくて 広島のまちから 私は歩いてきた

歌っていく中で黙ったままの秀子さんの口元がにわかに変化してくる

♪この耳をふさいでも 聞こえる声がある この耳をふさいでも あふれる愛がある

当時、秀子さんは爆心地の近く、材木町に一家10人で暮らしていた。秀子さんは皆実町の学校に行っていて難を逃れたが、母や姉弟の人を一度に失った。父も重い原爆症を患い、残った弟たちと共に母の実家の音戸町に身を寄せ、今日まで70年間を過ごされている。

秀子さんはまわりの誰にも原爆で亡くなった家族のことを一言も口に出さなかった。

「折り鶴」の歌が終わり、聞くと「話しても分からない」、でも「私はぜひ聞きたい」と問う。以後、夏場になるとヒロシマの歌、平和の歌をたくさん歌った。

少しずつ秀子さんの心の扉が動いた。そして・・・

昨年6月に県北で開かれた「全国青年のうたこえ交流会」の記念講演で約1時間話された。

8月には原水禁世界大会で、10月には地元音戸小学校の学校授業で講演をされている。

話の終わりには戦争のない、核兵器のない、真の平和の実現をと結ばれている。

話された後の心身消耗は壮絶なものがある。しかし70年を経て彼女自身の心を揺さぶったものは間違いなく歌であり、まわりで支えた合唱団の友である。いつまでも私もその友のひとりでありたい。